

## 小学校体育・道徳融合授業マナーキッズショートテニス教室司会進行要領

- (0:15) **事前準備 ネット、ラケット、ボールを設置。横断幕の設置。**  
(0:20) **地元指導者とのミーティング**  
・趣旨説明(テニスをやりながら、正しいお辞儀・挨拶の仕方を学ぶことを目的)  
・手順説明  
・礼法指導者から地元指導者に対し、正しいお辞儀・挨拶の仕方を指導  
・コート毎の挨拶、プレーの際の挨拶を練習する

### 全校児童正しいお辞儀・挨拶の仕方を学ぶ

- (0:01) 校長挨拶 学校側が校長を紹介。  
(0:07) 礼法指導者による正しいお辞儀・挨拶の仕方を指導  
マナーキッズショートテニスを体験する学年以外は教室に戻る。

### マナーキッズショートテニス教室

全員で行う

- (0:02) 開講式 児童は、1番コートから、ラインに沿って一列に並び、指導者は児童の前に並び、児童から自己紹介 まず進行係が行い、児童に練習させる。「名前」を言って「よろしくお願いします」代表2名が行う。各コートで全員が行う。  
指導者紹介(礼法指導者、派遣コーチ、地元コーチの順番で紹介、地元コーチは所属団体を紹介。)各コートに移る。  
各コートで行う

- (0:06) 1. 一列に並ぶ練習、挨拶の練習(コート1面に児童約10名:指導者2名以上)

#### 一列に並ぶ練習

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。ネットを挟んで指導者も並び、児童、指導者ともラケットは持たない。

真ん中の児童を起点に、間を空け過ぎず詰め過ぎず、等間隔で並ばせる。

始めが一番大事でありキチンとさせる。児童は始めの雰囲気、教室の雰囲気を察する。

挨拶とお辞儀の指導で教わった“きをつけ”の姿勢をさせる。姿勢が悪ければ注意する

#### 挨拶の練習

一番右の児童を代表者に指名する。進行係の「ハイ」の合図で全コート一斉に行う。

1番目の代表の「よろしくお願いします」の後、全員で「よろしくお願いします」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の目を見る。

始めの内はバラバラで揃わないので何回かやり直しをする。

指導者は、テニスの先生でなく“マナーの先生”ですのでキチンと出来ていない生徒に注意する。

#### 児童自己紹介

児童にラケットを渡し、プレーの際の挨拶 ラケットを左腕に抱えて、「よろしくお願いします」「ありがとうございました」

ラケットを音のさせないようにネットの前に置かせる。

二番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、全員でお辞儀して、指導者の目を見る。

- (0:02) 準備体操

- (0:05) 児童を中央付近のコートの周りに座らせて、ボレーのデモンストレーションを行う。

児童役から「よろしくお願いします」。指導者役「よろしくお願いします」

フォア4球、バック4球、交互4球、ボレーボレーの順でデモを行う。

注意事項を説明する。

- ・プレーを待っている時は、ラケットを抱っこする。
- ・ボレーの時は、プレーヤーから少し下がって待つ。
- ・グラウンドストローク、スマッシュ、サーブの時は、壁にくっつくぐらい下がって待つ。
- ・プレーヤーと待っている生徒の間を空ける。
- ・休憩は、5分程度で水分補給をする。

児童を各コートに行かせる。

### 2. テニス教室(コート半分に、児童約5名:指導者1名)

挨拶とお辞儀の指導 コート毎の挨拶の練習 進行係の「ハイ」を合図で代表が「よろしくお願いします」と言い、全員が「よろしくお願いします」と言うとお辞儀をする。同じように「ありがとうございました」

- (0:20) (1) ボレー

各コート縦2列になりプレーする。右のラインでやった人は左のラインに移動するようにクロスする。待っている児童は、ラケットを抱っこして少し下がって待つ。

#### フォアボレー

ラケットは左手で体の横に持ち、生徒から挨拶する。

児童が「よろしくお願いします」と言ったら、指導者は間髪を入れずに児童より大きな声で「よろしくお願いします」と言う。

#### フォアボレー 4球 <手で投げる>

児童が、「ありがとうございました」と言ったら、指導者は間髪を入れずに児童より大きな声で「ありがとうございました」と言う。

2周位回す

#### バックボレー

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

#### バックボレー 4球 <手で投げる>

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す

#### フォアボレーとバックボレー

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

#### フォアボレー バックボレー フォアボレー バックボレー <手で投げる>

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す

#### ボレー・ボレー

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

#### ボレー・ボレー <指導者もラケットで行う>

続けば適当に止める。続かない場合は4球位で止める

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す。

#### ボレー終了

終了の合図で、ボールを集めて、ネットの前に音を立てずにラケットを置く。

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。

3番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。指導者挨拶「ありがとうございました」

(0:05) (2)休憩

トイレ、水分補給のため5分位休憩する。

(0:20) (3)グラウンドストローク

#### デモンストレーション

児童を中央付近のコートに集めて、グラウンドストロークのデモンストレーションを行う。

#### 各コートでグラウンドストローク

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。

4番目の代表の「よろしくお願いします」の後、全員で「よろしくお願いします」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。

各コート2列になりプレーする。待っている児童は、ラケットを抱っこして壁まで下がって待つ。

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

#### グラウンドストロークのラリー <指導者もラケットでグラウンドストロークを行う>

<狭いコートの場合は、指導者はボレーで返球する>

続けば20本で打ち切り。続かない場合は4球位はチャンスを与える。ネットを1本以上(6年生は2本以上)超えたら合格。

右手で握手。児童挨拶「ありがとうございました」、児童の目線までしゃがんで指導者挨拶

児童は、記録係りの先生の所に行き、名前を言って何球出来たか報告する。

先生は、「次の目標は何本ですか?」と聞く。[頑張って下さい]と言い目を見て握手する。指導者は、2回目から「目標は何本?」と聞く。

20本出来た児童には前後など難しい球にチャレンジさせる。

2周位回す。

#### グラウンドストローク終了

終了の合図で、ボールを集めて、ネットの前に音を立てずにラケットを置く。

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。

5番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、

全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。指導者挨拶「ありがとうございました」  
児童を中央付近のコートに集めて、ラリー達成回数を確認し、頑張った本数をみんなで拍手する。  
20本達成者起立・拍手、10～19本達成者起立・拍手、5～9本達成者起立・拍手、  
1～4本達成者起立・拍手。

(0:15) (4)スマッシュとサーブ

デモンストレーション

児童を中央付近のコートに集めて、スマッシュとサーブのデモンストレーションを行う。

各コートでスマッシュ

児童をラインの手前に沿って横一列に並べ、全員で挨拶する。

6番目の代表の「よろしくお願いします」の後、全員で「よろしくお願いします」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。

各コート2列になりプレーする。待っている生徒は、ラケットを抱っこして壁まで下がって待つ。

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

スマッシュ 1人4球 <手で投げる>

児童を横向きにし、万歳させて待たせ、打ちやすい所にボールを投げる。

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

2周位回す。

サーブ(時間が無い場合は省略する)

児童挨拶「よろしくお願いします」、指導者挨拶「よろしくお願いします」

サーブ 1人2球 <対角線に入れる>

児童挨拶「ありがとうございました」、指導者挨拶「ありがとうございました」

スマッシュとサーブの終了

終了の合図で、ボールを集めて、ネットの前に音を立てずにラケットを置く。

児童をラインの手前に沿って横一列に並べる。

7番目の代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、

全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。指導者挨拶「ありがとうございました」

全員で行う

(0:05) 雑巾がけ

テニス教室終了で、生徒と指導者でラケット、ボール、ネットを壁の方に移動して片づける。

児童は一列になって床に雑巾がけをする。

整理体操

(0:10) 閉講式挨拶(進行係) 1番コートから横一列に並び、指導者は、1番コートから生徒の前に並び、

文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦を次の通り紹介する。

「マナーキッズテニスプロジェクトは文部科学大臣杯マナーキッズショートテニス全国小学生団体戦を行っております。本年は 月、日 で開催します。学年別男女別の単2、複1の団体戦です。その中から、試合結果だけでなく、マナー、感想文、マナーキッズ大使をアメリカのサマーキャンプに派遣します。皆様も挑戦して下さい。

返事の練習をする。「ハイ」と言ったら「ハイ」と言う。時間の都合上、代表の方2名に修了証書を渡す。

修了証書授与(校長から代表2名)

授与の仕方 右手で修了証書の右部中央で受ける。次に左手で左部中央で受ける。そのまま、心を下げる。修了証書を左手で受け、「ありがとうございました」を言ってから、笑顔で校長先生の目を見て握手する。

全員お礼の挨拶

代表の「ありがとうございました」の後、全員で「ありがとうございました」と言い、全員がお辞儀をして、指導者の顔を見る。

児童から指導者1人1人にお礼の挨拶(児童、指導者とも、1番コートから、40人以上の場合2班、60人以上3班、80人以上4班に分ける)

指導者一人一人に、正しく立って、お辞儀をし、「ありがとうございました」を言ってから握手する。

握手の際は、相手の目をいい顔で見える。

(0:05) マナーキッズショートテニス教室終了後のミーティング

地元指導者に対するお礼。

今後の協力を依頼。

委嘱状手渡し。

(0:15) 後片付け ネット、ラケット、ボールを返却。横断幕の返却。

